



ふるさと大野

令和7年11月14日

NO. 7

文責 宇田津

11月半ばとなり、少しずつ秋が深まってきたように感じます。暑さを心配していた運動会の頃が嘘のようです。音楽発表会、そして創立150周年記念式典が目前に迫り、子供達には、わくわくしているような、ドキドキしているような、張り切っている(!?)様子がうかがえます。運動会同様、当日の子供達の姿にご期待ください。

運動会、「限界突破!!」

運動会のテーマに掲げた言葉です。走りに、演舞に、声援その他もろもろに、この言葉に込めた意気込みが伝わってくる運動会でした。保護者の皆様には、運動会の係のみならず、早朝からの準備や片付けにも力を貸していただき、まさに総出の運動会でしたが、子供達はそんな親御さんの姿や見守ってくださる地域の方々の姿を見てふるさとのよさを心に染み込ませていたと思います。



初めての運動会を迎えた1年生と2年生の力強い走りに、1～3年生の親子で踊ったかわいいチェッコリ玉入れのダンス、4～6年生の団体競技グルグルタイフーンも見応えがありました。4・5・6年生のソーラン節もこれまでの踊り込みが自信に繋がっていましたね。6年生の親子競技も楽しかったです。「あの格好で感謝の気持ちを述べられても」と、テントで大笑いしました。そして、昼休みも使って自主的に練習を重ねてきた応援合戦。人数の少なさを感じさせない力強い応援で、練習の成果がばっちり出ていましたね。PTA種目での徳尾会長のマイクパフォーマンスも楽しかったです。最後は、地域の方々も加わってのあしきた音頭、みんなの笑顔がうれしかったです。

見どころたくさん運動会へのご協力、ありがとうございました。

スポーツの秋は続く！

葦北郡小体連陸上記録会が10月29日(水)に行われました。葦北郡の5・6年生が参加するということで、いつもと違うたくさんの同級生と力を試し合う貴重な機会となりました。残念ながら全体の場で受ける表彰はありませんでしたが、うれしかったのは帰校後に「一つもタイトルとれませんでした」と、子供達が悔しがっていたことです。「それは仕方ないよ」という言葉を飲み込み、「そうか、でも自己記録は伸びたんじゃない」と声をかけました。その意気でひるむことなく、様々ことに挑戦し力を伸ばしてほしいと思います。



実りの秋も おとずれました

前号で稲刈りの様子をお伝えしましたが、今月は脱穀と精米、袋詰めを行いました。今年は天候にも恵まれ、昨年を越える250kg弱の収穫となりました。お米は、150周年記念式典後に販売を行いますので、どうぞお買い求めください。精米には豎野様にもご協力をいただきました。ありがとうございました。



11月6日には、1・2・5・6年生と老人クラブの方々と芋掘りを行いました。こちらも大きなサツマイモがたくさんとれて驚きと喜びの声があがっていました。全校で分け合い持ち帰りしましたが、お味の方はいかがだったでしょうか。

優しい心にふれあう秋も あふれていました

○3・4年生による福祉施設交流が行われ、老人ホーム「美里」様やMisato Medical Care(天月)様にお世話になりました。日頃から優しい姿を見せてくれる子供達ですが、この日はなおさらにその力を発揮してくれました。



○芦北地区更生保護女性会の方々に「つなしのお祝い」をしていただきました。「祝いの紅白餅」、おいしかったことでしょう。10才を迎える皆さんの成長を、地域を挙げて喜んでいただいて、ありがたいですね。



追伸 11月16日(日)、いよいよ創立150周年記念式典の日を迎えます。PTA、そして地域の方々、これまでのご協力、本当にありがとうございました。準備の仕上げとして、老人クラブの方々には今年最後の草刈りを、田中塗装様には校舎に掲げた文字盤の塗り直しをしていただきました。お陰様で安心して当日を迎えることができます。当日も何かと大変かと思いますが、どうぞよろしくお願いします。

